

＜点字広報＞

第1号を発行

すべての市民に市政の動きを知っていただくことは、市の義務である、という広報活動の立場から、県内ではじめての「点字広報」の発行にふみきました。
その第1号を、本紙4月号の記事を約7,000字に



点字広報の紙面と表紙(中)

抜粋して発行したところ、盲人の方々から感謝の便りがたくさん寄せられています。

市では、予算の関係もあって、隔月発行の方針をとっていますが、これからは、盲人の皆さんの参画を期待し、内容の豊富な点字広報づくりにしたいと考えています。



紙上施設めぐり

(その2)

市、衛生センター

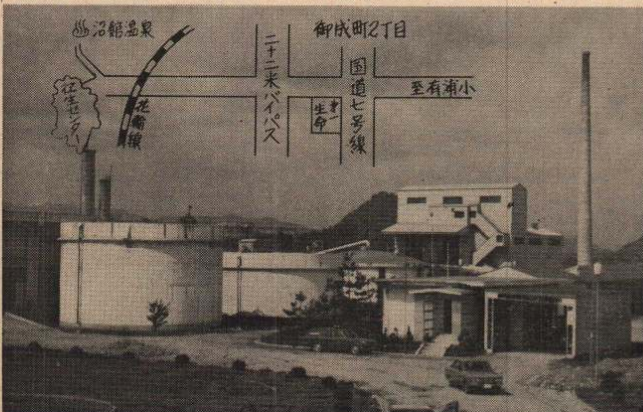
市内から1日に排出されるゴミは55トン、し尿は、55Kℓ、というふうな大量になります。

このゴミやし尿を衛生的に処理し、市の環境衛生面に最も力をそそいでいるのが、この衛生センターで、ここは市の清掃課が担当しています。

＜し尿処理場＞

昭和38年10月1日に着工し、よく39年10月31日に完成、1日50Kℓ(5万人分)の処理能力をもって操業したし尿処理場は、その隣接2町(田代、比内)の一部組合をつくり、1日30Kℓの処理施設を増設したため、現在では、1日80Kℓの処理能力をもつ施設になっています。

この処理場は、嫌気性加温式2段消化方式という処理方式を用いるとともに、各装置はすべて完全防臭処理を



し尿、ゴミの苦情は

清掃課へ
(電) 2-2169

写真 左側がし尿処理場
右側がゴミ焼却場

☑心の健康を保ちましょう

私たちが毎日生活していくために、最も大切なことはからだと心の健康です。誰れでも心配ごとがあると、からだの調子が悪くなり、病気になる、気持ちが沈んだり、イライラしたりします。

このように、心とからだは切りはなすことが出来ないつながりを持っているのです。私たちが朝目をさまし、「よし今日またがんばるぞ」と思う意欲のわきでるような真の心の健康を保ちたいものです。

大館保健所では、精神障害者の予防、早期発見とともに、心の健康を保ち、生きがいのある生活を楽しむためのようにより精神衛生相談所を開設していますので、お気軽においでくださるよう、のぞんでいます。

場所 大館保健所
日時 毎週木曜日 午後1時より
医師 大館保健所嘱託医 今井とよ

☑戸締りは厳重に

暖かくなり、人の動きも活発になってきました。それに伴い、ドロボーもぼつぼつ動き出しはじめます。つぎのことに気をつけ、犯罪や事故を防ぎましょう。

●寝る前、日中にお出かけの時は、忘れず「カギ」をかけ、戸締りを確かめましょう。とくに裏口や窓口などは忘れがちですので、注意しましょう。

●駐車した車の中から物をとられたり、車を持っていかれたりする事故が多くなっています。駐車する際は、エンジン、扉の「キー」を必ずかけましょう。

●お買物のとき、お金にはよく気をつけましょう。お買物に気をとられている間に、大切なお金までとられることがあります。

☑梅雨期の健康

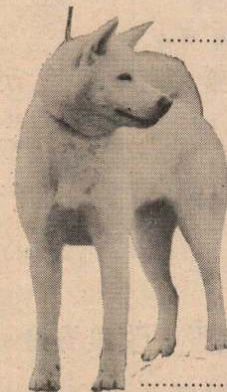
◇食中毒……………夏も多いのはくさった食物を食べておこる食中毒ですので、新鮮な食べ物を食べるように。

◇睡眠不足……………夜が短かく、暑くて寝苦しいため睡眠不足になりがちです。眠りがたりないと、昼間の疲れが回復しません。なるべく早寝、早起きの習慣を守るようにしましょう。

◇寝冷え……………暴飲暴食と寝冷えをしないよう、気をつけましょう。どんなにむし暑い晩でも、明け方になると冷えてくるものですから腹巻をして冷えぬようにいたしましょう。

◇伝染病……………赤痢やえき痢などの伝染病がでやすくなります。悪い井戸水とか不潔な手、ハエなどが一番危険です。外から帰った時や食事前には必ず手を洗いましょう。

◇農薬中毒……………夏、近、農薬中毒のために、皮膚や目、そして神経の病気がふえています。これは扱い上の不注意からおこることが多く、完全に防備し、作業が終わったあとは、必ずからだを洗い流すようにしましょう。



犬

●放し飼いはやめましょう
●路上にはフンを放置しないように

☑価格表示の

商品を買おう!

秋田県消費生活相談所で、過去7カ年の県民消費生活の調査結果をまとめたところ、最も要望の多いものの一つとして、鮮食料品をはじめとする各商品の価格表示が不十分であることがわかりました。

そのため、消費者は日常生活に必要な物資の購入にあたって、非常に不便を感じていることがあげられています。

このような結果から

◇商店は品物の価格をはっきり表示する。

例えば、100g→〇〇円というように、全部の商品に表示してください。

◇消費者は、価格表示が徹底している商店から商品を買うようにする。

～という、習慣を身につけ、お互いに明るい生活環境をきづいていくよう、協力しあいましょう。

☑止まらない汽車?

線路上での遊びは最も危険

44年度の秋田鉄道管理局内で起った鉄道妨害事故は479件もあったそうです。この中には、列車が進入してくる線路に立ち入ってはねられてケガをしたり、死亡した人が52件も含まれております。

列車の速度も年々速くなり、列車から自動車や人影を見つけて急ブレーキをかけても、急行列車で430m、ディーゼルカーで280mはとまりません。

列車の脱線転ぶ、人命を損傷する悲惨な事故を防止するため、つぎの点について、十分気をつけましょう。

- ◇踏切前では必ず一旦停止して左右を確かめる。
- ◇警報機が鳴りはじめたら、絶対に横断しない。
- ◇複線のところでは、特に反対列車に注意する。
- ◇線路や鉄橋は絶対に歩かない。
- ◇子どもを線路やその付近では遊ばせない。
- ◇線路で遊んでいる場合は、見つけしだい注意する。